

平成22年4月

各施設責任者の皆様

公益信託 臨床検査医学研究振興基金
運営委員長 中原 一彦

平素は、公益信託 臨床検査医学研究振興基金にご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当基金は、別紙ご挨拶状にも記載してありますように、臨床検査医学の分野において学術的貢献の期待が大きいと認められる若手研究者に研究奨励金を贈り、将来に向けて研究者を育成しようとするものであります。昭和56年に創立されました臨床病理学研究振興会の事業を恒久的に存続させるために昭和63年に公益信託として発足し、本年度で22年目を迎えております。

今年度も例年同様に、研究奨励金授与候補者の募集要項をお送りさせていただきます。

応募者数について申し上げますと、このところの臨床検査関連の厳しい業務状況を反映して研究まで手がまわらないためか、以前より著しく減少しております。当基金の運営委員長といたしましては、この状況を憂慮し臨床検査医学分野の研究発展に危機感を抱いております。

当基金は、医師のみならず技師の方にもご応募いただけます。どうかお知り合いの方々にお声をお掛けいただき、積極的にご応募いただきますようお願いする次第であります。

以上、まずは書状をもってお願い申し上げます。

平成22年 4 月

関 係 各 位

公益信託 臨床検査医学研究振興基金

運 営 委 員 長 中 原 一 彦



拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、公益信託臨床検査医学研究振興基金（平成15年4月公益信託臨床病理学研究振興基金より名称を変更）は、昭和56年に創立された『臨床病理学研究振興会』の事業を恒久的に存続することを願い、厚生（現厚生労働）大臣の許可を得て昭和63年に発足しました。

爾来、今日まで、臨床検査医学分野における若手研究者に対する研究奨励（助成）事業を実施して参りました。『臨床病理学研究振興会』発足から29年目、公益信託として認可を受けてから22年目を迎えたこととなります。

また、過年度において本基金（前身の臨床病理学研究振興会を含む）より研究奨励金を授与され、その後5年以上を経過し、引き続き臨床検査医学分野において優れた業績をあげている研究者に対する顕彰事業として「小酒井 望賞」を創設し、平成2年度より実施しております。

さらに、永年にわたり臨床検査医学・臨床検査室に専従され、とくに臨床検査室の管理運営において顕著な功績があった臨床検査専門家に対する顕彰事業として「藤田 光一郎賞」を創設し、平成15年度より実施しております。

このたび、平成22年度の「研究奨励」授与候補者ならびに「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の募集を行うことになりましたので、同封しました下記の書類をご参照いただき、各候補者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、本基金は推薦者・被推薦者の方の個人情報、「研究奨励」授与候補者ならびに「小酒井 望賞」および「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の選考のために必要な範囲において取扱い、その範囲を超えて使用することは一切ありません。

敬 具

記

（同封書類）①「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」の概要

②平成22年度「研究奨励」授与候補者の応募要項および推薦書

③平成22年度「藤田 光一郎賞」顕彰候補者の応募要項および推薦書

以 上

「公益信託 臨床検査医学研究振興基金」の概要

1. 目的 臨床検査医学分野の研究、技術の開発に対する助成と顕彰等により臨床検査医学の振興を図り、以って医学の進歩および医療技術の高度化に寄与することを目的とする。
2. 事業 ①臨床検査医学分野において貢献期待度大と認められる研究の奨励および研究者への助成
②臨床検査医学分野における優れた研究業績等に対する顕彰
③研究成果の学術誌および学会における発表の援助ならびにその研究報告書の作成
④その他目的達成のために必要な事業
3. 当初信託財産 3億円
4. 信託管理人 河合 忠 国際臨床病理センター所長
5. 運営委員長 中原 一彦 独立行政法人 大学評価・学位授与機構教授
運営委員 一山 智 京都大学大学院教授
(五十音順) 小栗 豊子 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院臨床検査部技術顧問
鈴木 博正 富士レビオ株式会社社長
高木 康 昭和大学教授
竹中 浩治 財団法人 医療関連サービス振興会理事長
田澤 裕光 株式会社エスアールエル副会長
吉田 浩 財団法人 仁泉会医学研究所北福島医療センター院長
6. 委託者 ①富士レビオ株式会社
②株式会社エスアールエル
7. 受託者 みずほ信託銀行株式会社

以上